



①写真撮影ボタン ②電源ボタン ③動画撮影ボタン ④カバーキャップ ⑤マイク ⑥レンズ
⑦リセットボタン穴 ⑧ステータスランプ[赤][黄] ⑨USB接続口 ⑩microSDカード挿入口

1) ご使用前の確認および注意事項

- ・本製品をご使用いただく前に、必ず充電を行ってから操作を開始してください。
- ・本製品をご使用いただく前に必ずmicroSDカード（別売）をセットしてから操作を行ってください。（※class10以上の16GB～最大128GB対応）
- ・microSDカードをセットせずに電源を入れると、本体が短い振動を繰り返しステータスランプ⑧ [黄] が点滅します。
- ・本製品は小型軽量化のため精密部品でデリケートに作られています。ボタン等の操作は強い力で行わないでください。
- ・保存処理および内部処理に時間がかかる場合がありますので、連続したボタン操作は数秒の間隔をあけて行ってください。
- ・充電や連続撮影等、使用中に本体が発熱し高温になる場合がありますのでご注意ください。
- ・連続してボタン操作をすると操作不能になることがあります。その場合はリセット処理を行ってください。【10参照】
- ・本製品は専用ケーブルを使用しており、市販のUSBハブや延長ケーブルと併用してご使用になるとドライブを認識できない事があります。データアクセスの際は、付属のUSB接続用ケーブルで、直接パソコンのUSBポートと接続を行ってください。
- ・撮影は被写体から最低でも約50cm以上離して撮影してください。

■バイブレーション機能

・本製品にはバイブレーション機能が搭載されており、充電およびボタン操作と連動して本体が振動します。

2) 充電方法

- ・本体のUSB接続口⑨に付属のUSB接続ケーブルとACアダプター(別売)を接続しコンセントから充電します。
- ・もしくは本体のUSB接続口⑨とパソコン等を付属のUSB接続ケーブルで接続(バスパワー)し充電します。
- ・接続するとランプ⑧ [赤] が点灯し充電中であることをお知らせします。
- ※microSDカードが本体にセットされているときには、ランプ⑧ [赤] 点灯と同時にランプ⑧ [黄] が点灯します。
- ※microSDカードが本体に入っていないときには、ランプ⑧ [赤] 点灯と同時にランプ⑧ [黄] が点滅し本体が短い振動を繰り返します。
- ・充電が終了するとランプ⑧ [赤] が消灯します。(バッテリーが空の状態より約3時間を目安に充電を行ってください。)

3) 電源操作

- 【電源ON】電源ボタン②を長押し(約2秒)すると電源がONになり、ランプ⑧ [黄] が点灯し待機状態になります。
- 【電源OFF】待機状態(ランプ⑧ [黄] 点灯)で電源ボタン②を長押し(約2秒)すると、ランプ⑧ [黄] が消灯し電源がOFFになります。

4) 動画撮影機能

- 【録画開始】
- ・待機状態(ランプ⑧ [黄] 点灯)で動画撮影ボタン③を押すとランプ⑧ [赤] が点滅し録画を開始します。
- ※録画中はランプ⑧ [黄] が点灯しランプ⑧ [赤] が点滅し続けます。
- 【録画停止】
- ・録画中に動画撮影ボタン③を押すと録画を停止し、点滅していたランプ⑧ [赤] が消灯し待機状態(ランプ⑧ [黄] 点灯)に戻ります。
- ※録画された動画は一定時間ごとに1ファイルとして保存されます。
- ※保存される1ファイルの録画時間は設定ファイルで変更することができます。【9参照】

5) 写真撮影機能

- ・待機状態(ランプ⑧ [黄] 点灯)で写真撮影ボタン①を押すとランプ⑧ [赤] が1回点滅し写真を1枚撮影します。
- データ保存後、待機状態(ランプ⑧ [黄] 点灯)に戻ります。

■ステータスランプ消灯機能

- ・各種ボタン操作や撮影時に点灯点滅するランプ⑧を消灯することができます。(※充電中のランプ⑧ [赤] 点灯を除く)
- ・待機状態(ランプ⑧ [黄] 点灯)に写真撮影ボタン①を長押し(約3秒)すると、ランプ⑧の点灯/消灯が切り替わります。
- ※本機能の設定は電源オフ後も継続されます。
- ※「ランプ消灯」に設定した状態で設定ファイル【9参照】を更新するとランプ消灯設定が解除されランプが点灯します。

6) 繰り返し録画機能

- ・本製品は繰り返し録画機能により、microSDカードのメモリがいっぱいになると古いデータから順に上書き録画されます。
- ※上書きされたデータは消去されますのでご注意ください。

7) 外部電源機能

- ※外部電源機能を使用すればバッテリー残量を気にすることなく、長時間の録画が可能になります。
- ・microSDカードをセットした状態でACアダプター(別売)を使用しコンセントに接続、またはモバイルバッテリー(別売)に接続すると、本体の電源がONになり待機状態(ランプ⑧ [赤] [黄] 点灯)となります。
- ・これにより充電をしながら通常と同様の操作が可能になります。
- ※パソコン等との接続(バスパワー接続)では外部電源機能は使用できません。
- ※設定ファイル【9参照】更新時は、一度電源がONになったあとOFFになります。その場合は再度電源を入れ直してください。
- ※コンセント接続で使用した場合、電圧が安定せずフリーズすることがあります。

8) リムーバブル機能(データへのアクセス)

- ・電源がOFFの状態では本体のUSB接続口⑨とパソコンを付属のUSB接続ケーブルで接続します。
- ・接続するとパソコンのマイコンコンピュータに新しくリムーバブルディスクとして認識され、以後メモリ内にアクセスできます。
- ※なお、本操作にドライバーのインストールの必要はありません。(対応OSは自動的にインストールされます)
- ・USB接続ケーブルを取り外す際は、OS指定の【ハードウェアの安全に取り外し方法】に従い正しく切断してください。
- ※認識が不安定な場合は、リセット処理を実行後、再度接続をし直してください。
- ※ドライバーの不具合等で認識できない場合は、別のUSB接続ポートでの接続をお試しください。

9) 各種設定方法

各種設定には下記の公式サポートページから設定ファイル『PARAM_SET.TXT』をダウンロードする必要があります。
※拡張子を非表示にしている場合は「PARAM_SET」と表示されます。

【設定項目】

動画サイズの設定	0=4K(25fps)/1=2.7K(30fps)/2=1080P(60fps)/3=1080P(30fps)/4=720P(120fps)/5=720P(60fps)
写真サイズ	0=30M/1=20M/2=14M/3=10M/4=8M/5=5M/6=4M
ファイルの長さ	1=1分/2=3分/3=5分
タイムスタンプ(日時)	RTC_TIME=2019/04/10 12:30:30(※例 2019年4月10日 12時30分00秒の場合)
タイムスタンプ表示	0=OFF/1=年月日/2=年月日時間

【設定手順】

- ①ダウンロードした設定ファイル「PARAM_SET.TXT」をメモ帳で開き、変更したい設定項目の値を修正し上書き保存します。
- ②本体をパソコンにリムーバブルディスクとして接続し、認識されたmicroSDカード内にアクセスします。【8参照】
- ③保存した「PARAM_SET.TXT」を、リムーバブルディスクドライブの最上位にコピーし貼り付けます。
- ④本体をパソコンから取り外し再度電源をONにすることでタイムスタンプの設定が完了します。

※電源をONにし設定が更新されると、「PARAM_SET.TXT」は自動的に消去され電源がOFFになります。

【設定値】

- ・VIDEO_SIZE=0 (動画解像度)
0から5の数値を入力して動画サイズを設定します。
- ・IMAGE_SIZE=6 (写真解像度)
0から6の数値を入力して写真サイズを設定します。
- ・VIDEO_SEAMLESS=3 (1ファイルの時間)
保存する1ファイルの最長時間を設定します。
- ・RTC_TIME=2019/04/10 12:30:00 (日時設定)
タイムスタンプの日時を設定します。
(例) 2019年4月10日 12時30分00秒の場合
「2019/04/10 12:30:00」と記入する。
- ・STAMP=2 (日時表示)
0から2の数値でタイムスタンプの表示/非表示および表示形式を設定します。

※高フレームレートでの録画は、パソコン環境によっては、コマ落ちる場合があります。

10) リセット方法

- ※充電後も電源が入らなかつたり、動作が不安定、フリーズ状態や正しい操作ができない場合などに使用します。
- ・爪楊枝など先が細いもので、リセットボタン穴⑦の中のボタンを軽く押し、リセット処理を行ってください。
- リセットが完了すると、電源はOFFになります。

■録画した動画を再生すると映像のコマが飛んだり音ズレする。

- ・製品本体とUSB接続をしたままファイルの再生をすると、ファイル転送が間に合わず正しい再生ができない場合があります。
- ・録画ファイルの再生は、本体よりお使いのPCの任意の場所へファイルを移動し、その後パソコンから再生を行ってください。
- ・それでも正しく再生できなかった場合は、以下の「VLC media player」にて再生を試みてください。

VLCメディアプレイヤー(推奨) : <https://www.videolan.org/vlc/> “VLCメディアプレイヤー(無料プレイヤー)”で検索

Ver.02

注意・警告 本製品は高精細画質の録画および保存を行う為、バッテリーにはリチウム蓄電池を採用しております。リチウム蓄電池は、ニッケルベースのバッテリーよりも出力密度が高いのが特長です。そのため、より軽量ながら駆動時間も長いのですが、**高温・加熱のある場所では発火の可能性もありますので、ご使用や保管方法には十分ご注意ください。**またバッテリーを長持ちさせるため必要以上の過充電や過放電(完全に放電した状態)の状態では保管しないようご注意ください。(電池の寿命が極端に短くなります) ご使用にならない際は、充電が半分程度の容量がある状態で保管される事を推奨いたします。

製品保証書



この製品保証書は以下の保証規約に基づき、初期不良および取扱説明書に従った使用状態で保証期間内に故障した場合の無償修理・交換をお約束するものです。

製品名		キーレス型ビデオカメラ (型番:A-208)		
お客様	お名前	様		
	ご住所			
		TEL		
お買い上げ日 (製品到着日)	年	月	日	販売店記載欄
保証期間		保証対象		
1 カ月		製品本体		

領収書／納品書添付欄

※購入先／購入日が判別できるものがが必要です※

■不良事象 (原因の早期特定のため不良事象は詳細に記載してください)

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

返品の際は、販売店および購入日がわかるもの(領収書や納品書) 付属品、外箱等すべて揃っている事が前提となります。また販売店へお伝えした不良事象を上記にご記入ください。

【保証規約】

- ① 保証期間について
保証期間は製品保証書に明記された期間とします。
- ② 製品交換・修理後の保証期間について
製品交換または修理対応後の保証期間は、ご購入日から当該製品に定められている正規の保証期間の残り日数、または修理対応後5日間のいずれかの長い期間となります。
- ③ 初期不良
製品購入後に不具合があった場合、原則交換させていただきます。製品購入日または製品到着日より、5日以内に販売店へお申し出いただき、上記保証期間内に指定の送付場所へ返送するものとします。
- ④ 製品保証
ご使用后、製品に不具合が生じた場合、上記保証期間に限り無償で修理または交換させていただきます。不良事象を販売店へお申し出いただき、上記保証期間内に指定の送付場所へ返送するものとします。なお、往復の送料はお客様のご負担となります。
- ⑤ 製品検査および修理
お送りいただいた製品につきましては、メーカー指定の製品検査方法により、不良・故障の判断をさせていただきます。なお、動作チェックには、2～3日いただく場合もございます。また、その結果修理が必要な場合、更に日数を要する場合もございますのであらかじめご了承ください。
- ⑥ 保証期間内であっても、初期不良または無償修理(または交換)として応じられない製品
 (1) 製品保証書・販売証明書(販売店のレシート等)の提示(購入年月日の証明含む)がない製品
 (2) 弊社への事前連絡なく返品された製品
 (3) 製品到着後6日以上経過した製品(※初期不良対応に限りません。)
 (4) お客様の手許で改造されたり不当に修理された製品
 (5) 化粧箱・製品付属品等が破損・紛失した製品
 (6) 譲渡・転売・中古販売・オークション等により入手された製品
 (7) 火災、地震、水害、落雷その他付属品以外のACアダプタやケーブルなどの使用により故障または損傷した製品
 (8) 製品検査後、お客様の過失による製品故障または破損と判断された製品
 (9) 製品検査後、弊社にて不良判断がなされなかった製品(お客様の使用環境による不具合・障害を含む)
- ⑦ 防水機能使用時の禁止事項(防水製品のみ)
 ■生活防水機能とは【防水性能のJISに等級】
 ※4級 防まつ型 (生活防水・汗や多少の雨など水圧がかからない水滴がついても大丈夫)
 (1) 製品表記の生活防水は濡れたままでの操作は保証されていませんのでご注意ください。
 (2) シャワーや手洗い等の水の直撃には耐えることができません。
 (3) 蒸気に対しては防御されませんのでお風呂や温泉など湯煙などではご使用できません。
 (4) 使用後はかならず乾いた布で拭いて水分を拭き取ってください。

防水気圧	○m防水	手洗い・雨	シャワー	プール	飛び込み	ダイビング
3	30	○	×	×	×	×
5	50	○	×	×	×	×
10	100	○	○	○	×	×
30	300	○	○	○	○	○
100	1000	○	○	○	○	○

【免責事項】

- (1) 製品の不良や使用時の不注意に起因する他の機器への損害、および運用上のお客様の不利益や損害に関しては弊社は一切の責任を負わないものとします。
- (2) MicroSDおよびハードディスク内に蓄積されたデータに関して、いかなる場合においてもその保存および保持は一切保証いたしません。